

2018ほたるコンサート

Jazz concert

ダニー・シユエッケンディック
ジャズトリオ来訪!

2018年7月1日(日)
名倉小学校まるねホール

13:00 開場
13:30 開演
入場料:500円
中学生以下無料



Profile

アメリカ、ジョージア州アトランタ生まれ。

芸術的素養豊かな家庭環境に育ち、中学の頃からJazzに親しみ、独学でドラムやピアノのレッスンを始める。

物理学者を志し、ジョージア州立大学からUCB(カリフォルニア大学・バークレー校)応用物理学科に転籍、しかし在学中にJazzへの想いを深めPianistとしての道を選ぶ。(セッション・ミュージシャン時代は、サンフランシスコ摩天楼のエリート・ビジネスマンとしての一面も。)

26歳でプロデビュー。サンフランシスコ～西海岸でのライブ活動を皮切りに、コンコード・ジャズ・フェスへの出演、ヨーロッパ、ジャパン・ツアー を通じ、各地で高い評価を得たのち、名古屋のジャズ・クラブからの演奏招聘により 1988年から日本での演奏活動を開始。

強力なグループと、クリアでありながら瞬間のインスピレーションで変幻自在に紡ぎ出す繊細な表現、心に響くパワフルで豊かなJazzのエッセンス～"blues/うた"のある独自の演奏スタイルで聴き手を引き付け、Jazzファンのみでなく幅広いファンから強い支持を得ている。

現在、自リーダートリオ「The Trio」のほか、DrunkenFish 等、名古屋を中心に地元のミュージシャンと精力的に演奏活動を続けている。主な共演アーティスト：アニタ・オディ(vo)、ケイコ・リー(vo) (旧交も深く、オリジナル曲の作詞も手がける。)、峰 厚介(sax)、土岐英史(sax)、岡田勉(b)、八神純子(vo)、渡辺裕之(ds)、ミッキー・カーティス(vo)、ブツァ・ネチャック(b)、ミランダ・クリスティン(vo)等、日本伝統芸能との和洋コラボレーション：日舞(西川まさ子)、ジョン・海山・ネプチューン、タップダンスとのコラボ：市川ミサオ(中部地方を代表するタップダンサー)など、活動は多岐に渡り、新しい試みも続けている。近年では、M.J.Q.デビッド・マシューズ(arr)との交流も。

2010年、NHK リトル・チャロ2 Adventure in the Middle World Vol.2 の作詞(下記)。
I'll Be Waiting, My Turn, Time, I Can Do It Now

国内各所でのライブ、イベント、コンサートのほか名古屋芸術大学 音楽文化創造学科 ジャズ・ポップスコース元教授、ヤマハミュージック名古屋 Jazz&Popularコース講師として後進の指導にも力を注いでいる。